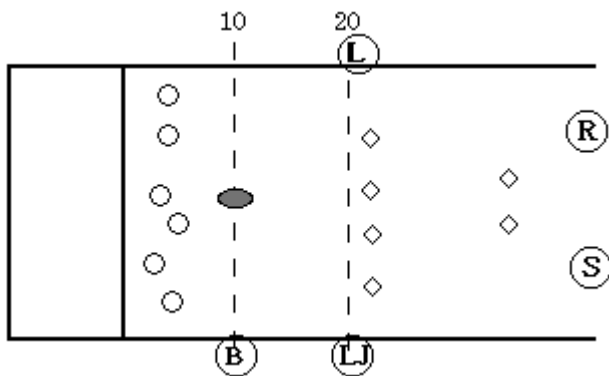


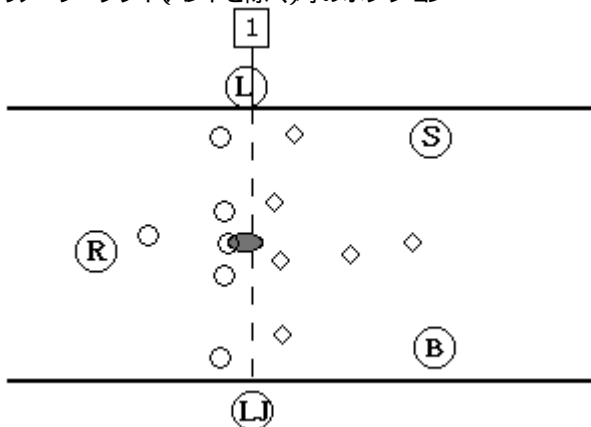
(1)5人制におけるポジション

R=レフェリー、L=ラインズマン、LJ=ラインジャッジ、B=バックジャッジ、S=サイドジャッジ】
 (基本的には、女子審判員は、L:ラインズマン、およびB:バックジャッジをお願いいたします。)

(a) キックオフ時のポジション

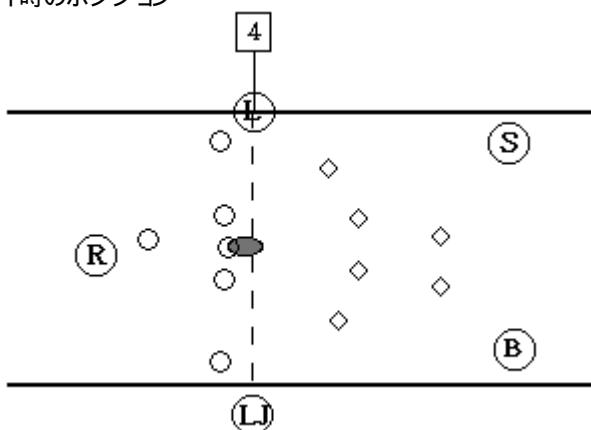


(b) スクリメージ・プレイ(バントを除く)時のポジション



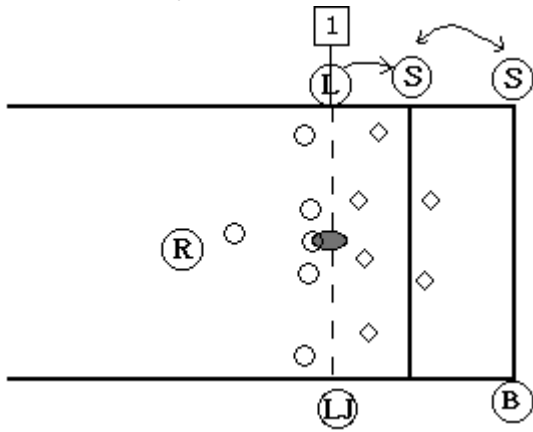
- パスが投げられたら、L,LJは落下地点に走り寄る。

(c) バント時のポジション



- B,Sは、リターナーの横後方に位置する。
- L,LJは、宣言バントにおいては両チームの選手がスクリメージを越えない事を、宣言バントでなければ、スクリメージ付近の反則を、それぞれケアする。

(d) ゴールライン・プレイ時のポジション



- Bは、ゴール前10ヤード程度前からのプレイ時には、ゴールライン上に位置し、ゴールラインをケアする。
- Lは、ゴール前5ヤード程度前からのプレイ時には、プレイ開始後、ゴールラインをケアする。その場合、Bは、エンドライン上に位置する。
- ゴール前10ヤードより遠い場合には、B,Sのうち、自身側へのプレイがないものは素早くゴールラインをケアする。
- Sはエンドラインをケアする。

(2) R L LJ B Sの分担は以下のとおりとする

- LJとBは反則を記録する。
- 試合計時の確認はRとSが行う。
- 反則の施行はBが行う。(この項は「理想」, 当面Sが行うこととする)
Lも同時に施行して確認する。
LJは施行が完了するまで施行基準点に位置し、施行完了後移動する。
- LまたはLJは、反則をしたチームの代表者に反則の説明と、可能ならば反則をしたプレイヤーの番号を伝える。
- 25秒計時はRが行う。(25秒計がある場合、RとSで管理)
- LとJはそれぞれのサイドのボールパーソンを管理する。またサイドライン際のチームエリアを管理する。(サイドラインの外からチームエリアまでの領域は審判の走るエリアである。ここに選手やコーチ、あるいは障害物がないことを確認する。)
- Lはチェーン補助員の指導管理を行う
また、チェーンはサイドラインから1ヤード外に立てさせる。
- チームタイムアウトの30秒計時は、Sが行う。

R	試合計時の確認 25秒計の管理(あるいは計測)
L	・チェーンクルーの指導・管理 ・自身のサイドのチームのボールパーソンの指導・管理(*) ・自身のサイドのチームへの反則の伝達(*) ・自身のサイドのチームをチームエリアから出ないように指導(*)
LJ	・反則施行時に、反則基準点を指し示す ・自身のサイドのチームのボールパーソンの指導・管理(*) ・自身のサイドのチームへの反則の伝達(*) ・自身のサイドのチームをチームエリアから出ないように指導(*) ・反則の記録
B	・罰則の施行(* 当面「S」が行う) ・反則の記録
S	試合計時の確認 25秒計の管理 (罰則の施行) ・チームタイムアウト(30秒)の計時

*: 関東女子では女子審判員にはこの項目は指導していないので、男性審判でカバーする。